

令和7年度

事業報告

社会福祉法人 名東福社会

目 次

名東福祉会の理念	1
事業機構	2
利用者の状況	4
デイケア事業	9
メイトウ・ワークス	
天白ワークス	
はまなす	
レジデンス日進	
ナイトケア事業	22
相談支援事業	31
サービス品質の向上を目指した取り組み	36
決算報告	42
施設・事業所一覧	

名東福祉会の理念

【法人の理念】

利用者の思いを確かなものにする

優しい気持ちになりたい ～ホスピタリティ・マインドを意識して～

- 笑顔で接する
- ありのままを引き受ける
- 気持ちに寄り添う
- 思いを想像する
- 真摯である

【法人のミッション】 「やりたいこと」「やらねばならぬこと」

自己決定を支援すること（意思決定支援）により、
利用者および利用者支援に関わる全ての人々に安心感を与える

- ・利用者が **安心** して利用したい
- ・職員が **安心** して働きたい
- ・ボランティアが **安心** して参加したい
- ・理事会・評議員会が **安心** して経営参加したい
- ・後援会が **安心** して協力したい
- ・地域の方々が **安心** して任せたい

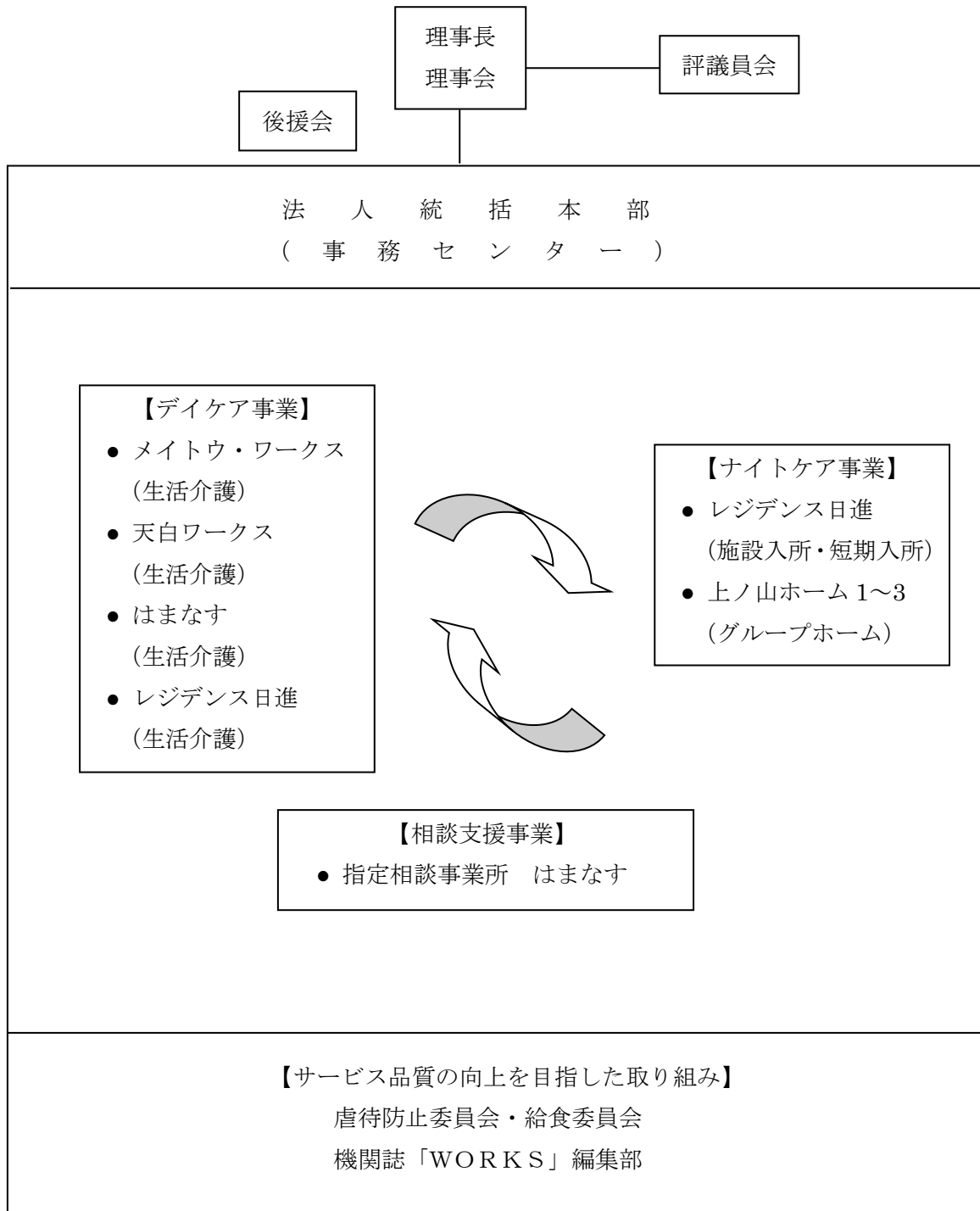
【法人のビジョン】 「ありたい姿」「あらねばならない姿」

“やりがい”を感じられる活動と、“安全”で“快適”な暮らしを提供する。

- ・障害の重さを個性として理解する
- ・利用者の人たちの意思を尊重する
- ・ひとりひとりの望みに合わせた生活を実現する
- ・人とのかかわりを大切にする
- ・生活環境を整備する
- ・社会とつながる活動を大切にする
- ・働くこと（生産活動）を支援する
- ・地域との交流を大切にする
- ・利用者や支援者の健康に配慮する
- ・支援の質を向上させ、地域に貢献できるよう努力する

事業機構

1. 機構図



2. 職員構成 令和8年4月1日 現在：計93名（内派遣スタッフ11名）

	本部長	事務員	管理者	支援員 相談員		看護師	栄養士	医師
				男	女			
法人全体	1	4	4(2)	34	46	2	1	1
メイトウ・ワークス			1	3	4	(1)		(1)
天白ワークス			1	3	5	(1)		(1)
はまなす			1	3	5	(1)		(1)
レジデンス日進			(1)	25	31	1	1	(1)
上ノ山ホーム			(1)					(1)
指定相談はまなす			1	(1)	1			

* レジデンス日進の支援員および栄養士、また看護師は、常勤換算前の実人数

* () は兼務

利用者の状況

(令和8年4月1日 現在)

名東福祉会は現在、260名以上の方々から利用契約をいただき、名古屋東部地域を中心に、障害福祉サービスの提供をおこなっています。継続的に、デイケアおよびナイトケア事業を利用されている方が108名（うち、64名が両事業を重複利用）、短期入所や日中一時支援事業等の今年度の利用者が14名（うち、11名が法人デイケア事業も利用）で、グループホーム利用者の中には、就労している方も3名おられます。

障害のある方々の生活をトータルに支援できるよう、事業所間の連携を強化して利用者のニーズに応じていきたいと考えています。

1. 年齢分布

	～19歳		20歳～		25歳～		30歳～		40歳～		50歳～		計
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	
メイトウ・ワークス						1	1	2	7	3	8	3	25
天白ワークス				1			7	2	2		5	3	20
はまなす			1		2		8	2	3	3	3		22
レジデンス日進 (施設入所支援)						1	4	2	5	4	13	11	40
上ノ山ホーム							3	1	5	2	10	6	27
法人全体	0	0	1	1	2	2	23	9	22	12	39	23	134
	0		2		4		32		34		62		

2. 居住（出身）地分布

(1) 名古屋市内分

	名古屋市												
	名東	天白	緑	千種	昭和	守山	瑞穂	中村	中川	南	港	中	東
メイトウ・ワークス	16	1				1			1				1
天白ワークス	2	8	3		2				1	1			
はまなす	18	1			2		1						
レジデンス日進 (施設入所支援)	8	7	5	1		2	1	1	1	1		1	
上ノ山ホーム	6	8		1	2	2	1			1			
法人全体	50	25	8	2	6	5	3	1	3	3		1	1

(2) 名古屋市外分

	名古屋市外						小計	市内小計	合計
	日進	春日井	尾張旭	瀬戸	江南	他県内			
メイトウ・ワークス	2		1			2	5	20	25
天白ワークス	3						3	17	20
はまなす							0	22	22
レジデンス日進 (施設入所支援)	7		1	1	1	2	12	28	40
上ノ山ホーム	1		1	1		3	6	21	27
法人全体	13	0	3	2	1	7	26	108	134

3. 障害の程度：障害支援区分認定結果

	1		2		3		4		5		6		計（平均）	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	今年度	前年度
メイトウ・ワークス					5	1	5	4	4	2	2	2	25 (4.4)	25 (4.3)
天白ワークス					2	1	6	1	2	3	4	1	20 (4.6)	20 (4.6)
はまなす					1		2		8	1	6	4	22 (5.2)	22 (5.2)
レジデンス日進 (施設入所支援)							2		7	4	12	15	40 (5.6)	40 (5.6)
上ノ山ホーム			1		4	1	7	1	4	3	2	4	27 (4.4)	27 (4.4)
法人全体		1			12	3	22	6	25	13	26	26	134 (4.8)	134 (4.9)
		1			15		28		38		52			

4. 障害の種別

(1) 主たる障害

	広汎性発達障害		ダウン症		知的障害		重症心身		計
	男	女	男	女	男	女	男	女	
メイトウ・ワークス	8	3	1	3	7	3			25
天白ワークス	4	3	3		7	3			20
はまなす	10	2	4	1	3			2	22
レジデンス日進 (施設入所支援)	12	7	2	2	5	8	2	2	40
上ノ山ホーム	10	4	2		6	5			27
法人全体	44	19	12	6	28	19	2	4	134
	63		18		47		6		

(2) 重複障害

	肢体		視覚		聴覚		内部		精神		延計
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	
メイトウ・ワークス		1			1			2	1		5
天白ワークス	1	1			1		1				4
はまなす		2	1								3
レジデンス日進 (施設入所支援)	2	3				1			1		7
上ノ山ホーム					1	1			1		3
法人全体	3	7	1		3	2	1	2	3		22
	10		1		5		3		3		

5. 利用期間

	～1年		1年～		3年～		5年～		10年～		15年～		計
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	
メイトウ・ワークス			4						1	2	11	7	25
天白ワークス						1	1		1	1	12	4	20
はまなす			1		1		3	2	2		10	3	22
レジデンス日進 (施設入所支援)			2		2		1	3	2	7	14	9	40
上ノ山ホーム			2	1	2		1		7	8	6		27
法人全体			9	1	5	1	6	5	13	18	53	23	134
			10		6		11		31		76		

6. 月別平均利用者数

	定員	4月	5月	6月	7月	8月	9月
メイトウ・ワークス	30	21.6	21.9	21.2	21.7	21.9	22.0
天白ワークス	20	18.3	18.3	17.9	18.0	18.2	17.8
はまなす	25	18.6	19.0	19.2	19.2	18.4	19.4
レジデンス日進 (施設入所支援)	40	38.5	38.2	38.3	38.8	37.0	38.8
上ノ山ホーム	27	26.1	25.4	26.0	25.9	24.6	25.7

10月	11月	12月	1月	2月	3月	今年度平均	前年度平均	
22.2	21.3	21.9	21.5	21.8	22.3	21.8	20.2	メイトウW
18.1	18.5	17.1	18.6	18.7	18.9	18.2	21.1	天白W
19.4	18.9	18.9	19.5	19.7	19.2	19.1	19.6	はまなす
38.6	37.7	37.4	36.3	37.6	37.9	37.9	37.9	レジデンス
25.9	25.4	24.8	24.6	25.5	25.9	25.5	24.5	上ノ山H

7. 短期入所事業利用者数：レジデンス日進・定員7名

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
91	93	81	94	78	95	103	95	84	87	92	105	1,098

8. 日中一時支援事業利用者数：レジデンス日進・定員7名

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
5	6	6	9	4	6	7	4	5	6	7	6	71

* 日中一時契約市町村：名古屋市・日進市

9. 通所施設時間延長サービス利用者数 (16:00~17:00)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
メイトウ・ワークス						
天白ワークス	1		2			1
はまなす	21	18	20	21	14	17
法人全体	22	18	22	21	14	18

10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	
						0	メイトウ・ワークス
			1			5	天白ワークス
18	13	15	16	14	19	206	はまなす
18	13	15	17	14	19	211	法人全体

デイケア事業

名東福祉会は、昭和 57 年にメイトウ・ワークスの事業開始以降、質の高い日中プログラムの提供を目指してきました。

暮らしの質の充実は、日中をどう過ごすかが大きく影響します。施策や制度の動向を踏まえながら、利用者のニーズに基づくサービス提供の姿勢を保ち、多様な選択肢を提供していきたいと考えています。

特に、施設入所支援、共同生活援助事業を展開していることから、夜間の安全を重視した管理体制（環境調整）に偏りすぎないように、利用者ひとりひとりの思いをたしかなものにする（希望に寄り添った）日中活動支援の実現を目指します。

メイトウ・ワークス

令和7年度はグループハイク・ランチ計画をおこなうにあたり、個々のニーズに合わせた内容を実施できるよう進めてきた。グループによっては個別対応の利点を活かし、参加される方にとって何を求め、どんなことに興味を持たれているかを見直し、検討する機会にもなった。

年末におこなっていた忘年会を今年度はボランティアや講師の方との交流会として実施した。

初めての試みではあったが、特別な食事会を皆さんで楽しむことができた。

日中の活動では下請け作業の受け入れも安定しており、作業に携わる時間を提供することができた。また、作業以外にも季節行事に向けての制作や、全体で楽しむことができる企画をおこなった。

生活介護事業

(1) 作業種目と年間売上状況 (単位：円)

	陶 芸	下請他	計
令和7年度	305,761	936,785	1,242,546
令和6年度	357,560	845,843	1,203,403

(2) 作業内容

● 下請け作業

部品の組み立て、袋詰め、箱詰め、仕分け作業など、作業工程を分けることにより、それぞれの利用者が自分の得意な部分で作業に取り組めるように工夫している。

● 陶芸作業

動物はし置き、季節の人形、マグネットなどの小物陶器を製作。めいとう福祉まつり、コミュニティーセンター祭り等のイベントでの販売、ネットでの販売、愛知牧場での販売をおこなった。また、令和7年度も名東区自立支援連絡協議会の主催で、イオン名古屋東店で商品紹介・販売をおこなった。

(3) 利用者給与支給状況 (※工賃規程の定めによる)

	工賃総額	一人当たり平均 (賞与含)
生活介護	1,091,300 円	50,060 円/年

(4) レクリエーションプログラム・イベント

● 創作活動

陶芸の創作活動は、上ノ山の陶芸サイトでおこなった。

● 音楽活動

● リラクゼーション活動

- ・ 森林セラピー
- ・ 足浴

● 全体行事

- ・ お花見
- ・ あそび広場 (たかばり北保育園招待)
- ・ グループハイク・ランチ

- ・交流会 忘年会
- ・節分レク

(5) 地域交流

- ・コミュニティーセンターまつり
- ・めいとう福祉まつり
- ・めいとうまるっとマルシェ

(6) 地域貢献

- ・駐車場を南自動車図書館（あおぞら号）の巡回ポイントとして提供した。
- ・大学生の介護体験実習を受け入れ。
- ・中学生の福祉体験を受け入れ。

(7) 研修

● 外部研修

実施日	開催場所	内容等	参加人数
R7.7.29	オンライン	サービス管理責任者 基礎研修	1
R7.8.7～8	名古屋市総合社会福祉会館	強度行動障害支援者養成実践研修	1
R7.9.20	レジデンス日進	虐待防止研修	1
R7.10.14～15	愛知県社会福祉会館	強度行動障害支援者養成基礎研修	1
R7.10.30～31	第一富士ビル	サービス管理責任者 更新研修	1
R8.1.31	日進市民会館	4 法人合同虐待防止研修	1
R8.2.28/3.8	知多市市民活動センター	強度行動障害支援者養成実践研修	1

● 事業所内職員研修および会議

実施日	テーマ	内容等	参加人数
R7.4.1	虐待防止・身体拘束適正化	虐待防止・身体拘束適正化	全職員
R7.4.2	強度行動障害研修	強度行動障害	全職員
R7.4.4	ハラスメント防止	ハラスメント防止	全職員
R7.4.8	公益通報者保護に関する規程	公益通報者保護について	全職員
R7.5.1	感染症及び食中毒予防及びまん延の防止研修	感染症に係る業務継続計画訓練	全職員
R7.8.5	感染症及び食中毒予防及びまん延の防止研修	感染症に係る業務継続計画訓練	全職員
R7.8.16	自然災害発生時の業務継続研修・訓練	自然災害発生時の業務継続研修	全職員
R7.11.4	感染症及び食中毒予防及びまん延の防止研修	感染症に係る業務継続計画訓練	全職員
R8.2.3	感染症及び食中毒予防及びまん延の防止研修	感染症に係る業務継続計画訓練	全職員

天白ワークス

令和7年度は、3月に久しぶりのグループハイクも実施することができた。

日々の活動（自主製品・下請け作業・自立活動・創作など）もそれぞれの利用者に合わせながら、提供することができた。また、毎月のレクリエーション活動（創作・ゲーム・散歩など）の企画も充実し、利用者の楽しめるものになった。クリスマス会では、外部団体の公演、各ターミナルの発表会をおこない、一日通して家族の方々にもみていただいた。

各種の展覧会にも積極的に参加し、作品販売へもつながった。

季節のいい時には、ランドも利用し、ボール遊び等をおこなう姿もみられた。

現在、活動時間だけでなく、時々休憩中にも季節のものを制作し、張り替えもしながら、館内には常に様々な作品が飾られている。

生活介護事業

(1) 作業種目と年間売上状況（単位：円）

	陶芸	焼き菓子	下請	雑収益	計
令和7年度	515,343	1,397,035	326,659	61,479	2,300,516
令和6年度	253,039	982,630	335,515	85,034	1,656,218

(2) 作業内容

- 陶芸
食器（コップ・皿）、置き物、マグネットなどを製作。バザー等で販売した。
- 焼き菓子
クッキー・パウンドケーキなどの焼き菓子を手作りで製造し販売した。材料の準備、計量、生地づくり、成形、袋詰め、包装の工程を、利用者が役割分担した。注文やバザー等で販売した。
- 下請け
部品の組み立て、製品の箱詰めなど、工程の分かりやすい作業をおこなった。作業工程を細分化・構造化することで、多くの利用者が参加した。

(3) 利用者給与支給状況（※工賃規程の定めによる）

	工賃総額	一人当たり平均（賞与含）
生活介護	895,400円	49,198円／年

(4) レクリエーションプログラム・イベント

- 創作活動
1階作業室で週1回創作活動を提供した。
また季節行事に合わせての創作もおこなった。
- 音楽療法
月2回、講師による音楽療法。2グループに分かれて実施した。
- クリスマス会
ゴスペルグループによるクリスマスコンサート、各ターミナルでの発表会を実施。
昼食は外注のお弁当とした。
- レクリエーション活動
毎月レクリエーション活動（創作・ゲーム・外出）を企画し、おこなった。
- コーヒータイム

各作業室で月 1 回または 2 回実施。

別館では、その時間を利用して、利用者のミーティングをおこなった。

- ソフトボール大会
春季大会・秋季大会とも参加した。
- フットベースボール大会
10 月に参加した。

(5) 地域交流

- ・天白区かおの見えるアート展
web 公開や地域の中での展示に出展した。
- ・その他の作品展の展示及び販売もおこなった。
- ・土岐美濃焼まつり、あじさいコンサート、せとものまつり、天白区福社区民のつどいで販売した。
- ・近隣にお住まいのボランティアに、活動の可能な日・時間で参加していただいている。

(6) 地域貢献

名古屋市新規採用職員研修、教職課程履修大学生の介護体験実習受入れをおこなった。

(7) 研修

- 外部研修

実施日	開催場所	内容等	参加人数
R7.7/24	(一社)名北労働基準協会	衛生推進者養成講習	1
R7.9/22	オンライン	強度行動障害の基礎的知識と支援の組み立て	1
R7.10/22	MOBILITY GATE 吹上	普通救命研修	1
R7.11/10	日本福祉大学社会福祉総合研修センター	虐待防止研修	1
R8.2/25・26	名古屋市総合社会福祉会館	強度行動障害支援者養成研修（基礎）	1

- 事業所内職員研修および会議

実施日	テーマ	内容等	参加人数
R7.4/22	公益通報者保護	公益通報者保護について	全職員
R7.4/22	ハラスメント防止	ハラスメント防止について	全職員
R7.5/20	障害特性研修	障害特性について	全職員
R7.5～7 計 3 回	プログラム会議	各作業室について	全職員
各月 1 回	虐待防止・身体拘束適正化マネジメント・事故防止会議	セルフチェックの確認・ヒヤリハットの検証・虐待防止・事故防止・身体拘束適正化の検証	全職員

実施日	テーマ	内容等	参加人数
R7.7/22 R8.2/3	新規採用職員研修	虐待防止・身体拘束適正化・感染症食中毒予防・自然災害（BCP）名東福祉会理念の説明	2
R7.7～9 計5回	モニタリング会議	全利用者のモニタリングの確認	全職員
R7.7/22,11/18	工賃会議	賞与時期に伴い利用者の評価についての見直し	全職員
R7.8/26 , 9/1 R8.3/4 , 3/5	防災会議	防災訓練の実施計画および反省会議	全職員
R7.4/15,6/10,12/16	感染症・食中毒会議	感染症・食中毒予防に関する研修	全職員
R7.9/26 , R8.3/10	感染症・食中毒会議	感染症・食中毒予防に関する訓練	全職員
R7.4/15	自然災害（BCP）会議	自然災害（BCP）に関する研修	全職員
R7.10/15	自然災害（BCP）会議	自然災害（BCP）に関する訓練	全職員
R8.1～3 計8回	個別支援計画会議	全利用者の個別支援計画書を確認および見直し	全職員
R8.3/24	虐待防止研修 その人らしく生活することが出来る権利を守るために	研修報告 虐待防止・身体拘束適正化・権利擁護・意思決定支援について	全職員

はまなす

令和7年度は、利用者の方が見通しを持って日々過ごせるように、午前中は主に作業をおこない、午後は曜日によって陶芸や貼り絵の創作活動、カラオケや足湯等のリラックプログラム、またスポーツ活動を提供した。

また、コロナ禍において中止していたグループハイクを再開し、ソフトボール大会等施設外の交流もおこなってきた。

利用者の方が安全により快適に過ごしていただけるように、施設内の環境整備を進めた。作業室内をパーテーションや机の配置によって整理したり、個室を用意することによって、活動的な方、静かに過ごしたい方、周りの事が気になってしまう方が、それぞれ落ち着いて穏やかに過ごせるように環境を整理した。

さらに、安全と防犯面から2階の入り口に扉を設置し、エレベーターに安全カバーを取り付け、不測の事態が生じないようにセキュリティーを向上させた。

生活介護事業

(1) 作業種目と年間売上状況（単位：円）

	下 請	雑収益	計
令和7年度	107,350	2,045	109,395
令和6年度	101,800	0	101,800

(2) 作業内容

ナット・ワッシャーの袋詰め、ボルトのナット止めなど。

(3) 利用者給与支給状況（※工賃規程の定めによる）

	工賃総額	一人当たり平均（賞与含）
生活介護	111,350円	5,830円/年

(4) レクリエーションプログラム・イベントについて

● 散歩

公用車を使用して近隣の公園や公共施設へ出かけ、散歩、散策をおこなった。気分転換、健康増進、一般の方々との交流などを目的に、午前、午後とメンバーを入れ替えて実施した。

● 通常のレクリエーション

毎日、午後の時間帯に月曜日陶芸、火曜日足湯、水曜日カラオケ、第4水曜日音楽療法士による音楽活動、木曜日創作、金曜日身体活動をおこなった。利用者の方も何曜日は何をおこなうのかを理解し、楽しみにされている。

● ソフトボール大会

春の大会4月16日（水）、秋の大会10月1日（水）に参加した。

● フットベースボール紅白戦

10月21日（火）に参加した。

● 夏まつり

8月8日（金）午後、カラオケを楽しみつつ、家族会有志とサマーボランティアによりかき氷、たこ焼き、ウインナー焼き、ポップコーンを提供した。

● クリスマス会

12月19日（金）午後、音楽活動と合同でクリスマスイベントを加えて楽しんだ。

- ティータイム
毎月、第三金曜日の午後2時よりティータイムをおこなった。

(5) 地域貢献

年2回の高針台一丁目町内会一斉清掃(6月、12月)に参加、8月極楽学区盆踊り大会協賛金協力した。

名古屋市新規採用職員研修、高校生の夏休みサマーボランティアの受け入れや大学からの教員免許介護体験学生実習をおこなうことができた。

(6) 研修

- 外部研修

実施日	開催場所	内容等	参加人数
7月18日	オンライン	感染症対策	1名
7月30日	オンライン	権利擁護	1名
2月3日	オンライン	身体拘束防止	1名

- 事業所内職員研修および会議

実施日	テーマ	内容等	参加人数
6月4日	感染症・自然災害BCP	感染症・自然災害BCP改定	全職員
6月10日	ハラスメント防止	ハラスメント防止	全職員
6月11日	公益通報者保護	公益通報者保護	全職員
6月12日	強度行動障害理解	強度行動障害理解	全職員
6月17日	虐待防止・身体拘束適正化	虐待防止・身体拘束適正化	全職員
6月19日	感染症・食中毒予防及びまん延防止	感染症・食中毒予防及びまん延防止	全職員
7月3日	館内構造化	館内構造化	全職員
7月9日	工賃規程変更	工賃規程変更	全職員
7月18日	虐待防止・身体拘束適正化	虐待防止・身体拘束適正化	全職員
7月24日	虐待防止・身体拘束適正化	虐待防止・身体拘束適正化	全職員
7月31日	感染症対策研修報告	感染症対策研修報告	全職員
8月1日	権利擁護研修報告	権利擁護研修報告	全職員
8月29日	防災	避難訓練	全職員
9月19日	自然災害BCP	自然災害業務継続	全職員
11月14日	工賃規程変更	工賃規程変更	全職員
2月5日	虐待防止・身体拘束適正化	虐待防止・身体拘束適正化	全職員
2月5日	強度行動障害理解	強度行動障害理解	全職員
2月13日	身体拘束につながらない支援	身体拘束につながらない支援	全職員
2月19日	令和8年度事業計画	令和8年度事業計画	全職員
3月24日	防災会議	避難訓練	全職員

レジデンス日進

利用者の高齢化に伴い、利用者の特性に合ったプログラムおよび、環境調整をおこなうことで、ゆったりと過ごすことができるスペースを確保することができた。

行動障害のある自閉症の利用者への「構造化」対応の手法として、落ち着いて（安心して）、生き生きと、楽しく、人と関わることのできる環境にすること（生活の質の向上）を目的として取り入れた「自立課題」は、課題への取り組みの質・量に関して個別に再調整することができた。

「自立課題」は、自閉症に限定されることなく、知的に障害のある人にも有効な手法であることから、自閉症以外の利用者にも「主体的な取り組み」をテーマに日中の主たる活動として提供を継続することができた。

年度の後半に重度加算取得の準備のための書類整備をおこない、年度末には加算申請のための準備を終えることができた。

事業継続計画（BCP）を作成し、新型コロナウイルス、インフルエンザ、胃腸風邪等の感染症対応を実施した。新型コロナウイルス感染症が5類に移行後も、感染対応をすべて解除することなく、マスクの着用、体温測定、活動場所の消毒、換気などに努めた。

感染者発生時には、防護服、フェイスシールド、防護キャップ等を着用し、感染者および濃厚接触者の隔離等、感染症対応マニュアルに従った対応を実施した。

上記の対応を継続したことにより、インフルエンザ・胃腸風邪の感染者が数名程度確認されたが、拡大を防ぐことができた。

生活介護事業

(1) 作業種目と年間売上状況（単位：円）

	下請他	書籍発送	雑収益	計
令和7年度	0	178,800	480,000	658,800
令和6年度	658,711	135,900	222,433	1,017,044

(2) 作業内容

- ・書籍を販売、発送した。

(3) 利用者給与支給状況（※工賃規程の定めによる）

	工賃総額	一人当たり平均（賞与含）
生活介護	390,000円	10,000円/年

(4) レクリエーションプログラム・イベント

● 季節行事

➤ お花見

レジデンス日進前の桜を鑑賞した。（近隣の喫茶店「あぜりあ」にお弁当を注文）

➤ はるまつり

初めて平日開催とした。「屋上を活用する」を目的として、焼きそば・チャーハン、サンドイッチを手作りし、参加者全員が屋上で昼食をとることができた。午後からは和太鼓演奏を日ごろの成果として家族会に披露した。

➤ ゴルフ観戦

ブリヂストンレディスオープンの招待を受け、中京ゴルフ倶楽部（石野コース）にてゴルフ観戦をした。

➤ 流しそうめん

七夕を意識して、敷地内の竹を切り、そうめんを流して味わった。

- なつまつり
花火は、ナイトケア事業の余暇支援としての位置付け。午後からスイカ割りとかき氷、夕食後は花火を楽しんだ。日中のイベントは学童保育所の皆さんが参加することで交流の機会となった。
- バスハイク
11月、12月に実施した。(なばなの里、福井県立恐竜博物館、下呂温泉)
- あきまつり
終日開催。家族会も参加し、お神輿を担いだ。
- クリスマス会
クリスマスランチを堪能したあと、利用者ひとりひとりがオリジナルクリスマスケーキを作った。
- 初詣
近隣の神社に出掛けた。
- 節分
職員が鬼役となり、豆まきをおこなった。
- スポーツイベント
- ソフトボール大会
春季大会、秋季大会とも参加。
- その他
- 和太鼓
毎月、第2金曜日に言語聴覚士でもあり、障害児・者に和太鼓の指導をされている先生に来ていただき、太鼓の音、響きを体感することができた。(年度途中で講師が交代となった)
- ダンスレッスン
毎月、第3水曜日にチアダンス、ハグダンス等のインストラクターで地元大学、中学校、保育園等で指導されている方に来ていただき、利用者に合った、人とのつながりを大切にしながら緩やかなダンスをおこなった。

(5) 地域交流

夏まつりイベントによる学童保育所との交流。

(6) 地域貢献

夏まつりイベントによる学童保育所の受け入れ。

(7) 研修

● 外部研修

実施日	開催場所	内容等	参加人数
5/25	三重県松阪市	アート支援	1
6/7・15	知多市民活動センター	強度行動障害支援者養成研修講座 基礎研修	2
7/3	伏見ライフプラザ 鯉城ホール	法人指導監査説明会 (集団指導)	1
7/5・6	メディアス体育館ちた	強度行動障害支援者養成研修講座 実践研修	2
8/8	imy 会議室	虐待防止について	1
8/18	ウインクあいち	「法人指導監査」のポイントと対策	1

実施日	開催場所	内容等	参加人数
8/21	imy 会議室	意思決定を支える支援 ～虐待をうまないために～	1
9/17	ポートメッセなごや	サービス管理責任者基礎研修	1
1/24・25	知多市民活動センター	強度行動障害支援者養成研修講座 基礎研修	1
1/31	日進市民会館	4 法人合同虐待防止研修	7
2/13・27	名古屋市中生涯学習センター	ソーシャルワーク研修	1
2/28・3/8	知多市民活動センター	強度行動障害支援者養成研修講座 実践研修	1

● 事業所内職員研修および会議

実施日	テーマ	内容等	参加人数
4/17	事業継続計画研修	BCP の確認について	8
4/19	事業継続計画研修	BCP の確認について	26
5/15	事業継続計画研修	必要な対策を確認する	8
5/17	事業継続計画研修	必要な対策を確認する	29
2/5	事業継続計画研修	訓練形式で考えてみる	8
2/21	事業継続計画研修	訓練形式で考えてみる	29

実施日	テーマ	内容等	参加人数
5/15	感染対策委員会	必要な対策を確認する	8
5/17	感染対策委員会	必要な対策を確認する	29
11/6	感染対策委員会	感染症対応の変更について	8
11/20	感染症対策訓練	インフルエンザ感染予防について	8
12/18	感染対策委員会	胃腸風邪対応について	8
12/20	感染対策委員会	感染症対応について	26

実施日	テーマ	内容等	参加人数
4/19	職員全体 ミーティング	事業継続計画研修、令和7年度事業計画について、活動場所の再編について、不適切なかかわりについて、個別支援計画、マルトリートメント、ケース検討	26
5/17	職員全体 ミーティング	避難訓練について、感染症対策委員会について、事業継続計画会議について、ホーム1の状況について、あざについて、外出支援について、ユニット担当者会議について、虐待防止マネジメント会議について、支援の統一、ユニット担当者の位置付け、個別支援計画、マルトリートメント、ケース検討	29

実施日	テーマ	内容等	参加人数
6/21	職員全体 ミーティング	N.Rさんの他傷について、ユニット間の支援バランスについて、障害者虐待防止チェックリスト結果について、ヒヤリハット報告について、個別支援計画、マルトリートメント、ケース検討	27
7/19	職員全体 ミーティング	名古屋市教職員による盗撮事件から考える、統一した支援を考える、新規採用職員への対応について、金銭管理について、雨天時の傘の使用について、S.Tさんへの対応について、食事・おやつの摂取について、服薬忘れの防止について、個別支援計画、マルトリートメント、ケース検討	29
8/16	職員全体 ミーティング	ユニット間支援バランス調整について、はまなすの環境整備について、生活介護事業所レジデンス日進の定員について、ヒヤリハット報告について、上ノ山畑の農作物について、個別支援計画、マルトリートメント、ケース検討	23
9/20	職員全体 ミーティング	虐待防止研修、残食について、止めない支援について、ゴム手の使用について、守秘義務について、退職要因について、買い物の立替えについて、勤怠管理システム、個別支援計画、虐待防止チェックリスト、マルトリートメント、ケース検討	30
10/18	職員全体 ミーティング	内部研修から考える、ユニットの環境調整について、水へのこだわりの強い利用者への対応について、画像の取り扱いについて、就労利用者の支援について、避難訓練について、個別支援計画、マルトリートメント、ケース検討	23
11/15	職員全体 ミーティング	救命救急講習	27
12/20	職員全体 ミーティング	重度加算請求について、施錠について、情報管理について、イベントの位置づけについて、次年度イベント担当について、訪問薬局について、タイムレコーダーと出勤簿について、ロハスさんへのサポートについて、節電について、個別支援計画、マルトリートメント、ケース検討	26
1/17	職員全体 ミーティング	決められたことは守る、利用者の体調の急変について、ユニット・ホームでの金銭管理について、確認事項、マルトリートメント、個別支援計画、ケース会議	27
2/21	職員全体 ミーティング	避難訓練について、事業継続計画会議について、重度加算の取得について、利用者の契約解除について、新規契約利用者選考について、守秘義務について、声かけの必要性について、交通違反警告制度について、マルトリートメント、個別支援計画、ケース会議	29

実施日	テーマ	内容等	参加人数
3/21	職員全体 ミーティング	新規契約利用者について、短期入所利用者の調整について、行動記録について、会議等の変更について、設備の維持管理について、障害者虐待防止チェックリスト結果から考える、マルトリートメント、個別支援計画、ケース会議	24

実施日	テーマ	内容等	参加人数
6/5	虐待防止マネジメント会議	障害者虐待防止チェックリスト結果について	8
7/17	虐待防止マネジメント会議	当事者・利用者の話から考える（ホーム3） 利用者の言葉から考える（ホーム2）	8
8/7	虐待防止マネジメント会議	環境整備から行動制限を考える	8
8/21	虐待防止マネジメント会議	行動制限・拘束について考える	8
9/4	虐待防止マネジメント会議	利用者への聞き取り（ホーム1）から考える	8
9/18	虐待防止マネジメント会議	つなぎ服使用について	8
10/16	虐待防止マネジメント会議	内部研修から考える（9/20 講師：大野安彦氏）	8
11/7	虐待防止マネジメント会議	利用者の言葉から考える（ホーム3）	8
12/18	虐待防止マネジメント会議	施錠について考える	8
2/5	虐待防止マネジメント会議	身体拘束適正化に向けて	8

* 参 考

R7年度	メイトウ・ワークス	天 白 ワークス	はまなす	レジデンス日 進	法人全体
陶 芸	305,761	515,343			821,104
焼き菓子		1,397,035			1,397,035
下請	936,785	326,659	107,350		1,370,794
書籍発送				178,800	178,800
雑収益		61,479	2,045	480,000	543,524
計	1,242,546	2,300,516	109,395	658,800	4,311,257
R 6 年度	1,203,403	1,656,218	101,800	1,017,044	3,978,465
R 5 年度	1,224,422	1,722,954	105,900	1,298,950	4,352,226
R 4 年度	1,108,470	1,686,035	124,600	1,765,944	4,685,049

ナイトケア事業

名東福社会では、レジデンス日進を生活支援の拠点として、グループホームを展開しています。レジデンス日進の4つのユニットに加えて、上ノ山ホームもユニットとして考え、ナイトケアのノウハウを活かすことで、安定したサービス提供を図ります。

今後、ナイトケア事業への期待は高まるばかりですので、健康で快適な生活の場を提供できる支援体制を創造していきます。

また、地域移行の側面も視野に入れ、利用者ひとりひとりへの意向確認を重ねていきたいと考えています。

1. 感染症対応

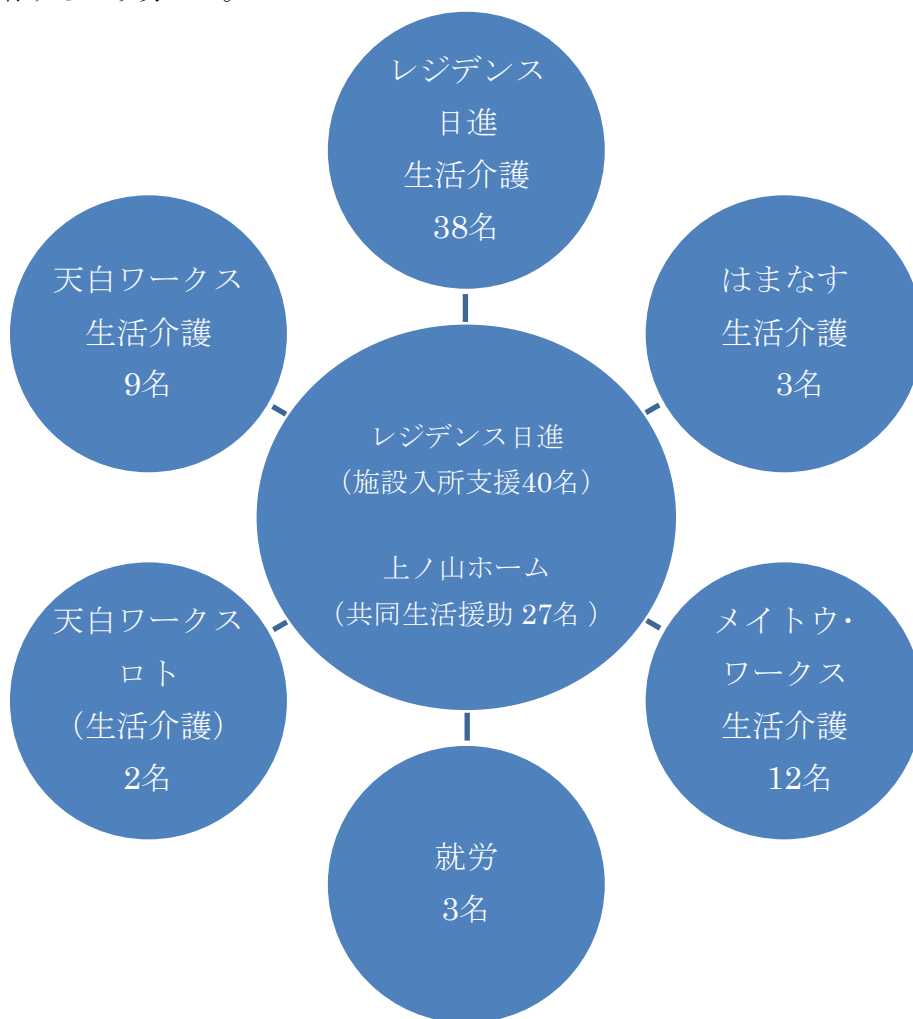
事業継続計画（BCP）を作成し、新型コロナウイルス、インフルエンザ、胃腸風邪等の感染症対応を実施した。新型コロナウイルス感染症が 5 類に移行後も、感染対応をすべて解除することなく、マスクの着用、体温測定、活動場所の消毒、換気などに努めた。

感染者発生時には、防護服、フェイスシールド、防護キャップ等を着用し、感染者および濃厚接触者の隔離等、感染症対応マニュアルに従った対応を実施した。

上記の対応を継続したことにより、インフルエンザ・胃腸風邪の感染者が数名程度確認されたが、拡大を防ぐことができた。

2. 生活の場と日中活動の場の連携

施設入所支援であっても、日中に他事業所を利用できるよう支援することがレジデンス日進の大きな特色である。利用者の方々に安心して生活していただくためには、日中活動事業所との連携が不可欠であることから、利用者個々の様子・健康面等での伝達事項を積極的に共有するよう努めた。



(※上図は令和 8 年度)

3. ナイトケア事業間の連携

施設入所支援および共同生活援助を「ナイトケア事業」として位置づけ、職員配置、勤務割り等を一体化することで、夜間支援全体を維持管理することができた。また、法人の通所事業所の職員が、生活支援（夕食・入浴など）を中心としたバックアップに入ることを情報共有、研修の機会として活用することができた。

4. ユニット単位の支援

レジデンス日進（施設入所支援）は1ユニット10名程度のユニット単位での生活支援を基盤とし、上ノ山ホームも同様に1住居（ユニット）9名での生活支援を基盤として、完全個室で個別対応による利用者の生活の安定を図った。

5. 支援内容の見直し

その都度必要な支援を追加してきたことで、支援内容が相当複雑になっている現状を整理するために、今は必要性の低いと思われる支援をできる限り削除し、新たに必要性の高いと思われる支援の追加をおこなうことで、業務の効率化を推し進め、職員の負担軽減を図った。

6. 短期入所利用者受け入れの充実

地域を中心とした短期入所利用を1～2泊で積極的に受け入れている。特に行動障害のある自閉症者の利用希望が高く、ユニット単位による支援の特性を活かし、障害特性に合わせて個別に対応を調整する形で受け入れをおこなった。

地域のニーズにできる限り応えていきたいが、職員の負担も大きく、調整が困難な状況になってきており、希望に対して十分に伝えることができなかった。

7. 健康管理

ナイトケア事業全体の健康管理については、レジデンス日進看護師が中心となり、現場支援員と連携を図りながら取り組むことができた。

グループホームにおいては健康管理を充実させるため、令和5年度から継続して訪問看護を導入した。

年2回の定期健康診断、個々の状態により毎日・毎週の体重・血圧測定、訪問歯科検診、インフルエンザ予防接種を実施した。

作成された事業継続計画（BCP）に基づく感染症対策（発症時の対応マニュアル整備）、通院支援（体調不良時早めの医療機関への受診、精神科、歯科、眼科、皮膚科への受診）も継続支援できた。往診（月2回）を含め嘱託医を中心とした地域医療機関との連携に留意した。

利用者個別の「体調シート」を作成し、利用者の毎日の体調および傷や怪我の位置（入浴時にチェック）、状況を記入し、状態の把握・共有を図り、適切な支援・介護に努めた。

また、夜間帯には、緊急対応マニュアル（てんかん発作時の個別対応シート含む）を各ユニットに設置し、緊急時には6名の職員が連携することで、より早く対応できるよう努めた。

8. 防災対策

事業継続計画（BCP）の作成、専門業者による消防設備点検、災害時用の備蓄（7日分）、緊急マニュアルの整備、夜間想定を中心とした避難誘導訓練をおこなった。

9. 金銭等の管理

利用者の財産管理については、「施設利用者の年金等取扱要領」に従い、適正・確実を旨としておこなった。また、年金および現金管理をしている利用者に対しては、行政等の手続きの代行、年金管理を家族・後見人等が担っている利用者に対しては、預かった現金の管理をおこなった。

10. 季節行事

マスクの着用、消毒、換気等の感染症対応を継続しているが、イベントに関しては、昨年度同様に、制限のない状態で実施した。

11. 重度加算取得

年度の後半に重度加算取得の準備のための書類整備をおこない、年度末には加算申請のための準備を終えることができた。

12. 研修

● 外部研修

実施日	開催場所	内容等	参加人数
5/25	三重県松阪市	アート支援	1
6/7・15	知多市民活動センター	強度行動障害支援者養成研修講座 基礎研修	2
7/3	伏見ライフプラザ 鯉城ホール	法人指導監査説明会（集団指導）	1
7/5・6	メディアス体育館ち た	強度行動障害支援者養成研修講座 実践研修	2
8/8	imy 会議室	虐待防止について	1
8/18	ウインクあいち	「法人指導監査」のポイントと対策	1
8/21	imy 会議室	意思決定を支える支援 ～虐待をうまいために～	1
9/17	ポートメッセなごや	サービス管理責任者基礎研修	1
1/24・25	知多市民活動センター	強度行動障害支援者養成研修講座 基礎研修	1
1/31	日進市民会館	4 法人合同虐待防止研修	7
2/13・27	名古屋市中生涯学習 センター	ソーシャルワーク研修	1
2/28 3/8	知多市民活動センター	強度行動障害支援者養成研修講座 実践研修	1

● 事業所内職員研修および会議

実施日	テーマ	内容等	参加人数
4/17	事業継続計画研修	BCPの確認について	8
4/19	事業継続計画研修	BCPの確認について	26
5/15	事業継続計画研修	必要な対策を確認する	8
5/17	事業継続計画研修	必要な対策を確認する	29
2/5	事業継続計画研修	訓練形式で考えてみる	8
2/21	事業継続計画研修	訓練形式で考えてみる	29

実施日	テーマ	内容等	参加人数
5/15	感染対策委員会	必要な対策を確認する	8
5/17	感染対策委員会	必要な対策を確認する	29
11/6	感染対策委員会	感染症対応の変更について	8
11/20	感染症対策訓練	インフルエンザ感染予防について	8
12/18	感染対策委員会	胃腸風邪対応について	8
12/20	感染対策委員会	感染症対応について	26

実施日	テーマ	内容等	参加人数
4/19	職員全体 ミーティング	事業継続計画研修、令和7年度事業計画について、活動場所の再編について、不適切なかかわりについて、個別支援計画、マルトリートメント、ケース検討	26
5/17	職員全体 ミーティング	避難訓練について、感染症対策委員会について、事業継続計画会議について、ホーム1の状況について、あざについて、外出支援について、ユニット担当者会議について、虐待防止マネジメント会議について、個別支援計画、マルトリートメント、ケース検討	29
6/21	職員全体 ミーティング	N.Rさんの他傷について、ユニット間の支援バランスについて、障害者虐待防止チェックリスト結果について、ヒヤリハット報告について、個別支援計画、マルトリートメント、ケース検討	27
7/19	職員全体 ミーティング	名古屋市教職員による盗撮事件から考える、統一した支援を考える、新規採用職員への対応について、金銭管理について、雨天時の傘の使用について、S.Tさんへの対応について、食事・おやつの摂取について、服薬忘れの防止について、個別支援計画、マルトリートメント、ケース検討	29

実施日	テーマ	内容等	参加人数
8/16	職員全体 ミーティング	ユニット間支援バランス調整について、はまなすの環境整備について、生活介護事業所レジデンス日進の定員について、ヒヤリハット報告について、上ノ山畑の農作物について、個別支援計画、マルトリートメント、ケース検討	23
9/20	職員全体 ミーティング	虐待防止研修、残食について、止めない支援について、ゴム手の使用について、守秘義務について、退職要因について、買い物の立替えについて、勤怠管理システム、個別支援計画、虐待防止チェックリスト、マルトリートメント、ケース検討	30
10/18	職員全体 ミーティング	内部研修から考える、ユニットの環境調整について、水へのこだわりの強い利用者への対応について、画像の取り扱いについて、就労利用者の支援について、避難訓練について、個別支援計画、マルトリートメント、ケース検討	23
11/15	職員全体 ミーティング	救命救急講習	27
12/20	職員全体 ミーティング	重度加算請求について、施錠について、情報管理について、イベントの位置づけについて、次年度イベント担当について、訪問薬局について、タイムレコーダーと出勤簿について、ロハスさんへのサポートについて、節電について、個別支援計画、マルトリートメント、ケース検討	26
1/17	職員全体 ミーティング	決められたことは守る、利用者の体調の急変について、ユニット・ホームでの金銭管理について、確認事項、マルトリートメント、個別支援計画、ケース会議	27
2/21	職員全体 ミーティング	避難訓練について、事業継続計画会議について、重度加算の取得について、利用者の契約解除について、新規契約利用者選考について、守秘義務について、声かけの必要性について、交通違反警告制度について、マルトリートメント、個別支援計画、ケース会議	29
3/21	職員全体 ミーティング	新規契約利用者について、短期入所利用者の調整について、行動記録について、会議等の変更について、設備の維持管理について、障害者虐待防止チェックリスト結果から考える、マルトリートメント、個別支援計画、ケース会議	24

実施日	テーマ	内容等	参加人数
6/5	虐待防止マネジメント会議	障害者虐待防止チェックリスト結果について	8
7/17	虐待防止マネジメント会議	当事者・利用者の話から考える（ホーム3） 利用者の言葉から考える（ホーム2）	8
8/7	虐待防止マネジメント会議	環境整備から行動制限を考える	8
8/21	虐待防止マネジメント会議	行動制限・拘束について考える	8
9/4	虐待防止マネジメント会議	利用者への聞き取り（ホーム1）から考える	8
9/18	虐待防止マネジメント会議	つなぎ服使用について	8
10/16	虐待防止マネジメント会議	内部研修から考える（9/20 講師：大野安彦氏）	8
11/7	虐待防止マネジメント会議	利用者の言葉から考える（ホーム3）	8
12/18	虐待防止マネジメント会議	施錠について考える	8
2/5	虐待防止マネジメント会議	身体拘束適正化に向けて	8

実施日	テーマ	内容等	参加人数
4/3	ユニット担当者会議	7年度事業計画について、コミュニケーションについて、活動場所の再編について、はるまつり参加形態について、ケース検討	8
4/17	ユニット担当者会議	事業継続計画について、不適切なかかわりについて、処遇改善加算について、障害者福祉人材確保・職場環境改善と事業補助金について、高齢利用者について、ケース検討	8
5/1	ユニット担当者会議	ユニット担当者会議について、虐待の可能性について、体重の増減について、夜間業務マニュアルについて、デイ2F問題解決について、ケース検討	8
5/15	ユニット担当者会議	ホーム1の状況について、緊急マニュアルの確認、感染症対策委員会について、転倒予防について、個別支援計画会議について、ケース検討	8
6/5	ユニット担当者会議	ユニット間の支援バランスについて、障害者虐待防止チェックリスト結果について、栄養マネジメント加算について、夜間業務マニュアルについて、ケース検討	8

実施日	テーマ	内容等	参加人数
6/19	ユニット担当者会議	利用者の他傷について、支援区分について、ヒヤリハット報告について、食事の異物混入について、歯科通院について、脱水症・熱中症について、ユニット業務負担軽減について、避難経路について、ケース検討	8
7/2	ユニット担当者会議	統一した支援について、あざの件について、ユニット担当者会議について、金銭管理について、日中事業所への送迎について、健康診断結果について、排尿について、他傷について、ユニット業務負担軽減について、ウォーキングについて、ケース検討	8
7/17	ユニット担当者会議	盗撮事件から考える、新規採用職員対応について、服薬忘れの防止について、金銭管理について、虐待防止マネジメント会議報告、O.Tさん頭頂部傷、日中活動場所の再設定、意思の尊重、虐待防止委員会報告、ケース検討	8
8/7	ユニット担当者会議	会議時間について、ユニット間の支援バランスについて、はまなす環境整備について、夜間業務マニュアルについて、ヒヤリハット報告について、自立課題について、ケース検討	8
8/21	ユニット担当者会議	会議時間について、止めない支援における影響について、つなぎ服の使用について、職員退職の原因について、個別支援計画について、備品の管理について、夜間支援業務バランスについて、ケース検討	8
9/4	ユニット担当者会議	会議時間について、職員の短期間での退職要因について、ユニット間の支援バランス調整について、バスハイク予定について、訪問歯科について、虐待防止マネジメント会議報告、ケース検討	8
9/18	ユニット担当者会議	利用者のあざについて、止めない支援について、ゴム手の使用について、守秘義務について、残食について、ケース検討	8
10/2	ユニット担当者会議	ユニット間の業務バランス調整について、あきまつりについて、朝のデイ玄関の様子について、夜間業務の負担軽減について、居室変更について、ケース検討	8
10/16	ユニット担当者会議	内部研修から考える、ユニットの環境調整について、画像等の取り扱いについて、居室変更について、あきまつりについて、日中支援の流れについて、ケース検討	8

実施日	テーマ	内容等	参加人数
11/6	ユニット担当者会議	ユニット担当者会議の位置づけについて、N.Rさんへの対応について、S.Tさんへの今後の対応について、他傷行為について、感染症対策について、日中の行動記録について、記録について、避難訓練について、日中会議報告、ケース検討	8
11/20	ユニット担当者会議	次年度のイベント担当について、事務センターの業務改善について、行事・イベントの見直しについて、インフルエンザについて、日中会議報告、ケース検討	8
12/4	ユニット担当者会議	イベントの位置づけについて、利用者の怪我について、利用者の買い物について、職員採用等について、I.Sさんの心理について、日中会議報告、新年食事会企画、ケース検討	8
12/18	ユニット担当者会議	施錠について、情報管理について、重度加算の請求について、訪問薬局について、イベント担当について、防災訓練予定確認、頓服の使用について、胃腸風邪感染予防について、日中会議報告、ケース検討	8
1/15	ユニット担当者会議	決められたことは守る、利用者の体調の急変について、褥瘡予防・対策について、ホーム内の金銭管理について、ユニット業務内容の確認について、日中会議報告、ケース検討	8
2/5	ユニット担当者会議	事業継続計画会議について、Cユニットの夜勤について、利用者の体調の急変について(2)、交通違反警告制度について、CVPPP(包括的暴力防止プログラム)について、乳がん検診について、身体拘束の適正化に向けて、日中会議報告、ケース検討	8
2/19	ユニット担当者会議	事故や怪我の対応について、利用者の体調の急変について(3)、新規利用者選考について、居室の変更について、重度加算申請への手順について、ユニット業務の負担軽減について、日中会議報告、ケース検討	8
3/5	ユニット担当者会議	行動記録について、これからの職員体制について、ユニット担当者会議の変更について、日中会議報告、ケース検討	8
3/19	ユニット担当者会議	行動記録について、レジデンス日進の次を考える、会議等の変更について、新規利用契約者について、設備の維持管理について、障害者虐待防止チェックリストから考える、訪問歯科について、ホームの管理方法について、日中会議報告、ケース検討	8

相談支援事業

名東福祉会は発足当初から、療育支援事業等を通じて、地域にお住まいの障害のある方々の生活を支える取り組みにも力を入れてきました。当事者の意向に沿った地域生活支援の重要性は増すばかりですし、そのためのネットワークの構築は必須です。

平成 17 年に名東区で地域生活支援センターを開設、地域にお住まいの方々の相談支援を開始し、平成 26 年には名古屋市より名東区障害者基幹相談支援センターの事業を受託、総合的な相談や地域づくりといった、地域生活支援の拠点機能を担ってきました。

現在、基幹相談支援センターの委託業務は終了しましたが、平成 26 年より、はまなすに併設した指定特定相談支援事業所にて計画相談支援の提供をおこなっており、引き続き地域に根差した相談支援に取り組んでいます。

指定相談事業所 はまなす

令和7年度は、新規での契約は8件となった。

新規契約者の内訳としては、精神障害者4名・知的障害者3名・身体障害者1名となっており、引き続き精神障害者からの依頼が多くなっている。

契約者数は、前年度の153名から（契約解除11名）3名減り、令和8年3月31日現在で150名となっている。契約解除理由としては、他事業所への移譲（3）、福祉サービス利用の終了（3）、転居（2）、介護保険への移行（2）、死去（1）となっている。

月1回の自立支援連絡協議会（事務局会議）に積極的に参加することによって、他の相談支援事業所と交流したり、地域における諸課題等を共有したりすることができた。

引き続き週1回の事業所内ミーティングを実施し、困難ケースにおける具体的な処遇方針や改善方策、地域における社会資源の状況、保健・医療・福祉に関する諸制度について、また苦情があった場合はその内容・改善方針について等様々な項目について話し合い、実際の支援に役立てることができた。

1. 契約者の内訳

【居 所】

	名古屋市	日進市	尾張旭市	瀬戸市	北名古屋市	計
人数	131	10	2	2	1	
	長久手市	江南市	一宮市	愛西市		
人数	1	1	1	1		150

(名古屋市の内訳)

	名東区	昭和区	天白区	守山区	緑区	千種区	瑞穂区	中村区	計
人数	95	4	9	4	7	4	2	1	
	北区	西区	東区	南区	港区	中区	熱田区	中川区	
人数	0	0	0	3	0	1	0	1	131

【住まい別】

	施設入所	グループホーム	一人暮らし	計
人数	35	30	8	
	家族と同居	有料老人ホーム	療養介護	
人数	76	0	1	150

【利用サービス（重複利用あり）】

	施設入所	療養介護	共同生活援助（GH）	短期入所
人数	36	1	30	38
	生活介護	就労継続 A 型	就労継続 B 型	就労移行
人数	85	4	22	2
	就労定着	居宅介護	重度訪問介護	同行援護
人数	1	22	2	2
	移動支援	地域活動支援	放課後等デイサービス	行動援護
人数	53	10	6	2

【年齢・性別】

	児（～17歳）	者（18歳～）	計
男性	5	80	85
女性	1	64	65
計	6	144	150

【障害種別（重複障害あり）】

	身体	知的	精神	発達障害	難病
人数	15	108	30	6	0

2. 研修内容

- ① 自立支援連絡協議会（事務局会議） *参加者数は20名程
 【事務局：区福祉課・保健センター、基幹センター、指定相談事業所、区社協 等】

実施月	開催場所	主な内容
4月	区役所	情報交換会
5月	区役所	研修会（重層的支援体制整備事業）
6月	区役所	勉強会（身寄りのない障害者等の身元保証等）
7月	区役所	研修会（「精神難病」について）+ 発達障害疑似体験
8月		開催なし
9月	区役所	勉強会（強度行動障害）
10月	区役所	事例検討会

実施月	開催場所	主な内容
11月	区役所	勉強会（医療的ケア児）
12月	区役所	勉強会（就労選択支援）
1月	区役所	情報交換会
2月	現地集合	見学会（区内日中支援型 GH2 ケ所）
3月	区役所	総括

② 事業所内ミーティング（強化型体制Ⅲ）

- <内容>
- ① 現に抱える処理困難ケースについての具体的な処遇方針
 - ② 過去に取り扱ったケースについての問題点及びその改善方策
 - ③ 地域における事業者や活用できる社会資源の状況
 - ④ 保健・医療及び福祉に関する諸制度
 - ⑤ アセスメント及びサービス等利用計画の作成に関する技術
 - ⑥ 利用者からの苦情があった場合は、その内容及び改善方針
 - ⑦ その他必要な事項

実施日（週1回程度）	参加者（相談支援専門員）
4月4日、11日、18日、25日	2人
5月2日、9日、16日、23日、29日	2人
6月6日、13日、20日、27日	2人
7月4日、11日、18日、25日	2人
8月1日、8日、15日、21日、27日	2人
9月5日、12日、19日、26日	2人
10月3日、10日、17日、23日	2人
11月7日、14日、21日、28日	2人
12月4日、12日、19日、26日	2人
1月9日、16日、23日、30日	2人
2月6日、13日、20日、27日	2人
3月6日、13日、19日、27日	2人

③ 外部研修

実施日	テーマ	内容 等
7/29	愛知県相談支援従事者 現任研修（1日目）	<p><個別相談支援></p> <ul style="list-style-type: none"> ・本人を中心とした個別相談支援に必要な技術について説明できる また、自身の個別相談支援の実践の振り返りや、他の実践事例の検討を通じて、能力の向上を図る
8/29	愛知県相談支援従事者 現任研修（2日目）	<p><相談支援に求められるチームアプローチ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・他の多様な職種に対する理解・尊重に基づいてチームを組織し、円滑に機能させるための技術の向上を図る
10/7	愛知県相談支援従事者 現任研修（3日目）	<p><地域をつくる相談支援（コミュニケーションワーク）の実践></p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域を作る相談支援の実践に必要な価値・知識・技術について理解を深める また、自身の地域を作る相談支援の実践の振り返りや、他の実践例の検討を通じて、地域援助の能力を獲得する
1/18	薬物依存症の支援について ～支援チームのあり方～	<ul style="list-style-type: none"> ・各支援のあり方・行政の取り組みを知る ・薬物乱用の現状・精神病理を学ぶ ・治療の原則 ・家族支援と支援者の燃え尽きについて
1/22	障害のある方の犯罪について、共に学び支え合う地域作りのために	<ul style="list-style-type: none"> ・なぜ今「地域共生社会」なのか? ・「生きづらさ」は見えない ・人と人との繋がりがセーフティネット ・「愛情のガソリン」を満たすバトンリレー
1/23	薬物依存症の支援について ～基礎講座～	<ul style="list-style-type: none"> ・クリニックの取り組み内容や治療の流れを知る
3/10	「本人主体について」 愛知県知的障害者福祉協会 相談支援部会	<ul style="list-style-type: none"> ・障害ある方が地域で安心して暮らしていけるために、相談員は何をすべきか? ・本人が本人らしく生きていくために、本人の心の声をどれだけ聴くことができるか? ・相談支援そのもののあり方を問い続けていくために、当事者の方をお呼びし、皆でコミュニケーションを図る

サービス品質の向上を目指した取り組み

名東福祉会は、提供するサービスの品質管理を法人全体でおこないたいと考えています。法人・事業所の特色を活かしながら、利用者に満足していただけるサービスの提供を目指していきます。

そのためにも、人材育成やサービス改善の仕組みは必須です。

1. 委員会

【虐待防止・身体拘束適正化委員会】

(1) 目的

名東福祉会が運営する障害福祉サービス事業等において、利用者の尊厳・人権を守り虐待を防止するために適切な措置を講ずること、および、利用者の身体拘束等の適正化を推進することを目的とする。

(2) 構成

理事長、担当理事、各事業所管理者・副所長、第三者委員、利用者および家族の代表

(3) 活動報告

実施日	テーマ	内容等	参加人数
7/23	当事者の意見を聴く	自己紹介、リーフレットを活用しての当事者との対話、鍵を付ける・施錠することについて	20
2/18	虐待防止マネジメント会議から考える	各事業所の会議報告、「つなぎ服」対応の変更について、身体拘束の具体的状況の報告、当事者の会議への参加状況について	9

(4) 成果等

委員会の名称に沿った内容ではないが、当事者が話したい・聴いてほしいと思っていることを発言できる環境が整ってきた。

また、身体拘束適正化については、レジデンス日進での「つなぎ服」対応が改善の方向に向かっていることを確認することができた。

【レジデンス日進・上ノ山ホーム地域連携推進会議】

(1) 目的

事業所と地域との連携による①利用者と地域との関係づくり、②地域の人への施設等や利用者に関する理解の促進、③サービスの透明性・質の担保、④利用者の権利擁護を目的とする。

(2) 構成

理事長、利用者、利用者家族、地域の関係者、福祉に知見のある人、経営に知見のある人、市町村担当者

(3) 活動報告

実施日	テーマ	内容等	参加人数
7/23	会議の目的・内容・効果について	訪問・見学の報告について、当事者の希望・要望について	8
2/18	訪問・見学の報告、当事者の要望・意見から考える	訪問・見学の報告、当事者の要望・意見から考える、報告内容から考える	9

(4) 成果等

この会議が3回開催されたことになるが、当事者が話す時間が増えている。また、当事者が話しをする際に、出席している職員が通訳の役割をするが、当事者の話しやすそうな雰囲気から、職員との関係が良好であり、安心してレジデンス日進・上ノ山ホームで生活している様子を感じ取ることができた。

2. 研修会等

【「支援リーダーのしごと」研修会】

(1) 目的

技術や知識、アレンジ力（配置する、整える力）・アドリブ力（臨機応変な対応力）など、総合的なスキルアップを図ることで、リーダーシップ力を身につけ、法人全体を視野に入れて利用者支援ができる職員を目指す。

(2) 構成

理事長、各事業所副所長・ユニット責任者、職員

(3) 活動報告

実施日	テーマ	内容等	参加人数
5/13	今年度の研修内容について	1年を通してテーマを決める、それぞれが課題を抽出し発表、意思決定支援について、ヒヤリハット報告書の活用、会議のあり方（取り回し、理解）	5
6/16	ヒヤリハット報告の意味	自己紹介、ヒヤリハットの報告内容と分析（安全委員会）、ヒヤリハット報告書の提出意識向上について	5
7/8	会議の内容の伝え方について	各事業所・法人の会議の種類と内容について、会議の伝え方について（伝える側と伝えられる側の課題）	7
8/12	法人としての意思決定支援について	名東福祉会の理念について、自己決定という言葉から想像すること・具体的な支援方法は？	7
9/10	研修報告	強度行動障害支援者養成研修について、名東福祉会での重度支援について（重度加算）	7
10/14	重度障害者支援加算について	プロジェクトリーダーから説明を受ける	8
12/9	研修報告	内部研修（虐待防止）のWORKS原稿の読み合わせ	7
2/10	研修報告	研修報告の発表を受けて「どうして虐待防止の研修が必要なのか」を考える	7
3/10	効率と非効率について	効率化の利点、効率化の目的、職員の思いについて	7

(4) 成果等

個別支援のケースに留まらず、事業所全体の課題について検討することができた。特に、「会議の内容の伝え方について」「効率と非効率について」は、現場のリーダーとしての立場だからこそ意識する話題を取り上げることができた。

【給食委員会】

(1) 目的

提供される給食の内容を検討することにより、より安全で、品質の高い食事提供を目指す。

また、委託業者と法人が食事提供に関して共通の目標を持ち、給食メニューの見直しをおこなう。

(2) 構成

法人：本部長、管理栄養士、事業所支援員各1名

委託業者：エリアマネージャー1名、管理栄養士1名

(3) 活動報告

実施日	テーマ	内容等	参加人数
5/8	食事提供について	好評価メニュー、意見・要望点の確認、課題の進捗状況について、今後の予定について	8
6/12	食事提供について	好評価メニュー、意見・要望点の確認、課題の進捗状況について、今後の予定について、異物混入について	7
7/10	食事提供について	好評価メニュー、意見・要望点の確認、課題の進捗状況について、今後の予定について、食中毒警報発令について、異物混入の防止と対策について	7
9/11	食事提供について	好評価メニュー、意見・要望点の確認、課題の進捗状況について、今後の予定について、異物混入について	8
10/9	食事提供について	好評価メニュー、意見・要望点の確認、課題の進捗状況について、今後の予定について、献立配布の方法について、異物混入について	8
11/13	食事提供について	好評価メニュー、意見・要望点の確認、課題の進捗状況について、今後の予定について、はまなす指導監査について	7
12/11	食事提供について	好評価メニュー、意見・要望点の確認、課題の進捗状況について、今後の予定について、異物混入について	8
1/8	食事提供について	好評価メニュー、意見・要望点の確認、課題の進捗状況について、今後の予定について、異物混入について、避難訓練参加について	7

実施日	テーマ	内容等	参加人数
2/12	食事提供について	好評価メニュー、意見・要望点の確認、課題の進捗状況について、今後の予定について、異物混入について	7
3/12	食事提供について	好評価メニュー、意見・要望点の確認、課題の進捗状況について、今後の予定について、異物混入について、	7
4/9	食事提供について	好評価メニュー、意見・要望点の確認、課題の進捗状況について、今後の予定について、異物混入について	5

(4) 成果等

ほぼ毎月異物混入があり、その対応について給食委託業者に改善を求めることが続いた。委託業者を変更することも考えなければいけない状況であることを伝え、危機感を持ってもらい、改善案を出してもらい、確認をおこなった。

メニューについては、各事業所で記載された検食簿を活用して、味付け、食材のバランス、盛り付け・全体量等について、また、利用者からのリクエストから献立作成の参考となるような話し合いをおこなうことができた。

3. 機関誌「WORKS」編集部

法人機関誌「WORKS」を発行。事業の紹介や制度動向、関連領域の話題を通じて、障害福祉サービスのあり方を提言していく。

法人利用者、職員に配布・送付している。

No.151 (2026年2月発行)

「虐待防止への取り組みについて (内部研修報告)」

4. その他

【ヒヤリハット報告】

事業所	区分	職員の 接遇	サービ スの質 や量	利用料	説明・ 情報提 供	被害・ 損害	権利 侵害	その他
メイトウ・ワークス	生活介護	8	6					5
天白ワークス	生活介護	15	2		2	4		5
はまなす	生活介護		5	1	1			
レジデンス日進	生活介護	3	5		2	1		6
	短期入所		3		1	1		2
	施設入所支援	8	19	3	2	4	1	6
上ノ山ホーム	共同生活援助	1	3		2			2
指定相談事業所はまなす	特定・障害児相談							

【事故報告】

事業所	区分	けが	死亡	感染症	法令 違反等	その他
メイトウ・ワークス	生活介護	4				6
天白ワークス	生活介護	6				1
はまなす	生活介護	6				
レジデンス日進	生活介護	5				9
	短期入所					
	施設入所支援	12				11
上ノ山ホーム	共同生活援助	2				3
指定相談事業所はまなす	特定・障害児相談					

決算報告

社会福祉事業区分資金収支内訳表
 (自) 令和 7年 4月 1日 (至) 令和 8年 3月31日

(単位：円)

勘定科目		本部	はまなす	上ノ山ホーム	メイトウ・ワークス	天白ワークス	レジデンス日進	合計	内部取引消去	事業区分合計
事業活動による収支	収入									
	就労支援事業収入				1,225,846	2,228,397		3,454,243	△92,825	3,361,418
	障害福祉サービス等事業収入		67,313,445	83,727,685	53,471,590	51,342,496	251,389,118	507,244,334		507,244,334
	経常経費寄附金収入	50,000	119,200	130,000	215,000	402,800	9,090,000	10,007,000		10,007,000
	受取利息配当金収入	315,484					2,294	317,778		317,778
	その他の収入	876,250	996,462	546,907	618,661	910,078	2,559,601	6,507,959	△140,020	6,367,939
	事業活動収入計(1)	1,241,734	68,429,107	84,404,592	55,531,097	54,883,771	263,041,013	527,531,314	△232,845	527,298,469
	支出									
	人件費支出	402,289	57,343,104	70,116,108	38,213,479	45,983,526	181,790,819	393,849,325		393,849,325
	事業費支出	446,645	8,130,089	17,882,855	7,852,787	7,782,356	48,954,631	91,049,363	△163,165	90,886,198
事務費支出	2,168,734	4,125,513	3,823,685	4,880,719	2,645,151	10,758,916	28,402,718	△33,230	28,369,488	
就労支援事業支出				1,172,145	1,913,381		3,085,526	△36,450	3,049,076	
その他の支出		1,829,640	2,036,102	1,370,680	1,990,541	7,975,295	15,202,258		15,202,258	
事業活動支出計(2)	3,017,668	71,428,346	93,858,750	53,489,810	60,314,955	249,479,661	531,589,190	△232,845	531,356,345	
事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	△1,775,934	△2,999,239	△9,454,158	2,041,287	△5,431,184	13,561,352	△4,057,876		△4,057,876	
施設整備等による収支	収入									
	施設整備等寄附金収入	600,000						600,000		600,000
	施設整備等収入計(4)	600,000						600,000		600,000
	支出									
	固定資産取得支出	3,169,830	3,236,380	386,390	318,630	326,330	12,797,580	20,235,140		20,235,140
その他の施設整備等による支出		45,990				14,330	60,320		60,320	
施設整備等支出計(5)	3,169,830	3,282,370	386,390	318,630	326,330	12,811,910	20,295,460		20,295,460	
施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)	△2,569,830	△3,282,370	△386,390	△318,630	△326,330	△12,811,910	△19,695,460		△19,695,460	
その他の活動による収支	収入									
	積立資産取崩収入	17,061,000				1,171,800		18,232,800		18,232,800
	拠点区分間繰入金収入		2,167,000				11,203,500	13,370,500	△13,370,500	
	その他の活動収入計(7)	17,061,000	2,167,000			1,171,800	11,203,500	31,603,300	△13,370,500	18,232,800
	支出									
積立資産支出	600,000	480,390	110,118	365,178	322,056	1,479,708	3,357,450		3,357,450	
拠点区分間繰入金支出	13,370,500						13,370,500	△13,370,500		
その他の活動支出計(8)	13,970,500	480,390	110,118	365,178	322,056	1,479,708	16,727,950	△13,370,500	3,357,450	
その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	3,090,500	1,686,610	△110,118	△365,178	849,744	9,723,792	14,875,350		14,875,350	
当期資金収支差額合計(10)=(3)+(6)+(9)	△1,255,264	△4,594,999	△9,950,666	1,357,479	△4,907,770	10,473,234	△8,877,986		△8,877,986	
前期末支払資金残高(11)	7,261,023	61,617,623	△12,410,915	51,241,549	54,787,122	154,756,129	317,252,531		317,252,531	
当期末支払資金残高(10)+(11)	6,005,759	57,022,624	△22,361,581	52,599,028	49,879,352	165,229,363	308,374,545		308,374,545	

社会福祉事業区分事業活動内訳表
 (自) 令和 7年 4月 1日 (至) 令和 8年 3月31日

(単位: 円)

勘定科目		本部	はまなす	上ノ山ホーム	メイトウ・ワークス	天白ワークス	レジデンス日進	合計	内部取引消去	事業区分合計
サービス活動増減の部	収益									
	就労支援事業収益				1,225,846	2,228,397		3,454,243		3,361,418
	障害福祉サービス等事業収益		67,313,445	83,727,685	53,471,590	51,342,496	251,389,118	507,244,334	△92,825	507,244,334
	その他の収益					313,200		313,200		313,200
	経常経費寄附金収益	50,000	119,200	130,000	215,000	402,800	9,090,000	10,007,000		10,007,000
	サービス活動収益計(1)	50,000	67,432,645	83,857,685	54,912,436	54,286,893	260,479,118	521,018,777	△92,825	520,925,952
	費用									
	人件費	402,289	58,141,764	69,719,896	38,411,987	44,883,402	182,612,037	394,171,375		394,171,375
	事業費	446,645	8,130,089	17,882,855	7,852,787	7,782,356	48,954,631	91,049,363	△163,165	90,886,198
	事務費	2,168,734	4,125,513	3,823,685	4,880,719	2,645,151	10,758,916	28,402,718	△33,230	28,369,488
就労支援事業費用				1,147,095	1,949,930		3,097,025	△36,450	3,060,575	
減価償却費	850,012	3,352,822	3,418,016	3,646,647	3,834,502	16,252,574	31,354,573		31,354,573	
国庫補助金等特別積立金取崩額	△2,400	△1,550,526	△306,837	△1,397,458	△1,338,176	△7,786,508	△12,381,905		△12,381,905	
その他の費用					86,400		86,400		86,400	
サービス活動費用計(2)	3,865,280	72,199,662	94,537,615	54,541,777	59,843,565	250,791,650	535,779,549	△232,845	535,546,704	
サービス活動増減差額(3)=(1)-(2)	△3,815,280	△4,767,017	△10,679,930	370,659	△5,556,672	9,687,468	△14,760,772	140,020	△14,620,752	
サービス活動外増減の部	収益									
	受取利息配当金収益	315,484					2,294	317,778		317,778
	その他のサービス活動外収益	876,250	996,462	546,907	618,661	683,278	2,559,601	6,281,159	△140,020	6,141,139
	サービス活動外収益計(4)	1,191,734	996,462	546,907	618,661	683,278	2,561,895	6,598,937	△140,020	6,458,917
	費用									
その他のサービス活動外費用		1,829,640	2,036,102	1,370,680	1,904,141	7,975,295	15,115,858		15,115,858	
サービス活動外費用計(5)		1,829,640	2,036,102	1,370,680	1,904,141	7,975,295	15,115,858		15,115,858	
サービス活動外増減差額(6)=(4)-(5)	1,191,734	△833,178	△1,489,195	△752,019	△1,220,863	△5,413,400	△8,516,921	△140,020	△8,656,941	
経常増減差額(7)=(3)+(6)	△2,623,546	△5,600,195	△12,169,125	△381,360	△6,777,535	4,274,068	△23,277,693		△23,277,693	
特別増減の部	収益									
	施設整備等寄附金収益	600,000						600,000		600,000
	拠点区分間繰入金収益		2,167,000				11,203,500	13,370,500	△13,370,500	
	拠点区分間固定資産移管収益		1					1	△1	
	特別収益計(8)	600,000	2,167,001				11,203,500	13,970,501	△13,370,501	600,000
費用										
固定資産売却損・処分損	4	4	1	1	2	4	16		16	
拠点区分間繰入金費用	13,370,500						13,370,500	△13,370,500		
拠点区分間固定資産移管費用				1			1	△1		
特別費用計(9)	13,370,504	4	1	2	2	4	13,370,517	△13,370,501	16	
特別増減差額(10)=(8)-(9)	△12,770,504	2,166,997	△1	△2	△2	11,203,496	599,984		599,984	
当期活動増減差額(11)=(7)+(10)	△15,394,050	△3,433,198	△12,169,126	△381,362	△6,777,537	15,477,564	△22,677,709		△22,677,709	
繰越活動増減差額の部	前期繰越活動増減差額(12)	161,035,666	72,284,909	51,767,716	72,410,431	60,253,729	145,620,252	563,372,703		563,372,703
	当期末繰越活動増減差額(13)=(11)+(12)	145,641,616	68,851,711	39,598,590	72,029,069	53,476,192	161,097,816	540,694,994		540,694,994
	基本金取崩額(14)									
	その他の積立金取崩額(15)	17,061,000						17,061,000		17,061,000
	その他の積立金積立額(16)	600,000						600,000		600,000
次期繰越活動増減差額(17)=(13)+(14)+(15)-(16)	162,102,616	68,851,711	39,598,590	72,029,069	53,476,192	161,097,816	557,155,994		557,155,994	

法人単位貸借対照表
令和 8年 3月31日現在

（単位：円）

資 産 の 部				負 債 の 部			
	当年度末	前年度末	増 減		当年度末	前年度末	増 減
流動資産	339,959,706	344,980,897	△5,021,191	流動負債	44,814,670	42,296,376	2,518,294
現金預金	238,669,648	267,466,926	△28,797,278	事業未払金	28,016,547	24,235,576	3,780,971
事業未収金	97,130,911	75,395,275	21,735,636	預り金	135,004	95,709	39,295
商品・製品	441,539	392,437	49,102	職員預り金	2,663,119	2,615,091	48,028
仕掛品	172,710	206,590	△33,880	賞与引当金	14,000,000	15,350,000	△1,350,000
原材料	156,242	182,963	△26,721	固定負債	41,436,326	39,850,676	1,585,650
立替金	2,875,604	4,930	2,870,674	退職給付引当金	41,436,326	39,850,676	1,585,650
前払費用	504,216	1,258,956	△754,740	負債の部合計	86,250,996	82,147,052	4,103,944
仮払金	8,836	72,820	△63,984				
固定資産	1,080,922,994	1,106,857,473	△25,934,479	純資産の部			
基本財産	864,964,019	874,257,912	△9,293,893	基本金	351,829,014	351,829,014	
土地	365,024,864	365,024,864		基本金	351,829,014	351,829,014	
建物	498,939,155	508,233,048	△9,293,893	国庫補助金等特別積立金	280,074,579	292,456,484	△12,381,905
定期預金	1,000,000	1,000,000		国庫補助金等特別積立金	280,074,579	292,456,484	△12,381,905
その他の固定資産	215,958,975	232,599,561	△16,640,586	その他の積立金	145,572,117	162,033,117	△16,461,000
建物	9,678,216	10,758,719	△1,080,503	建設積立金	41,000,000	41,000,000	
構築物	1,150,053	1,379,614	△229,561	人件費積立金	54,499	54,499	
機械及び装置	17	17		修繕積立金	59,504,118	65,746,618	△6,242,500
車輛運搬具	5,344,628	7,736,305	△2,391,677	施設整備等積立金	45,013,500	55,232,000	△10,218,500
器具及び備品	11,558,989	10,482,393	1,076,596	次期繰越活動増減差額	557,155,994	563,372,703	△6,216,709
権利	176,918	248,530	△71,612	次期繰越活動増減差額	557,155,994	563,372,703	△6,216,709
ソフトウェア	871,201		871,201	（うち当期活動増減差額）	△22,677,709	△11,523,248	△11,154,461
退職給付引当資産	41,436,326	39,850,676	1,585,650				
建設積立資産	41,000,000	41,000,000		純資産の部合計	1,334,631,704	1,369,691,318	△35,059,614
人件費積立資産	54,499	54,499		負債及び純資産の部合計	1,420,882,700	1,451,838,370	△30,955,670
修繕積立資産	59,504,118	65,746,618	△6,242,500				
差入保証金	72,800	35,000	37,800				
長期前払費用	97,710	75,190	22,520				
施設整備等積立資産	45,013,500	55,232,000	△10,218,500				
資産の部合計	1,420,882,700	1,451,838,370	△30,955,670				

施設・事業所 一覧

社会福祉法人 名東福祉会 (昭和 56 年 8 月 認可)

法人事務センター 〒470-0124 日進市浅田町上納 58-4

TEL(052)805-1003 FAX(052)805-1004

法人ホームページ <https://meito.or.jp>



種 別	名 称	住 所	電話番号	FAX 番号	E-mail
生活介護	メイトウ・ワークス	〒465-0055 名古屋市名東区勢子坊 2-1303	(052)702-2864	(052)701-2079	meitoworks@meito.or.jp
生活介護	天白ワークス	〒468-0023 名古屋市天白区御前場町 327	(052)804-5487	(052)804-5416	tenpaku@meito.or.jp
生活介護	はまなす	〒465-0054 名古屋市名東区高針台 1-911	(052)784-5693	(052)704-7552	hamanasu@meito.or.jp
施設入所支援 生活介護 短期入所	レジデンス日進	〒470-0124 日進市浅田町上納 58-4	(052)805-1003	(052)805-1004	nissin@meito.or.jp
共同生活援助	上ノ山ホーム	〒470-0124 日進市浅田町上ノ山 12-1	(052)808-4878	(052)808-4878	
特定相談支援 障害児相談支援	指定相談事業所 はまなす	〒465-0054 名古屋市名東区高針台 1-911	(052)704-7551	(052)704-7552	